

令和4年度 地理歴史 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス					単位数	分類	予定時数	
地理B	地理B	3	A	A	A	A	A	F	2	自由選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義
教科書	新詳地理B, 帝国書院 ・ 新コンパクト地図帳 改訂版, 二宮書店
使用教材等	新編地理資料2020, とうほう 2022データブック, 二宮書店 2022地理要点ノート, 啓隆社

科目の目標・内容等

学習目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
学習における留意点	講義に積極的に参加すること。自ら進んで地図や資料集、関連する本を読むこと。
予習・復習	短時間でよいが復習すると良い。地図も手元においてよく見ること。
評価方法	定期考査・ノート提出・プリント提出・平常点(授業態度等)・小テスト 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	様々な地図と地理的技能	地球儀や地図から捉える世界、結び付く現代世界地図で読み解く。大縮尺の地図について学ぶ。自然環境と防災、地理的な諸課題と地域調査を学習する。	地形図の読図、主題図の作成ができるか。日本の自然災害の特徴を理解できているか。ハザードマップを活用できるか。
2	現代世界の系統地理的考察	世界的視野から見た自然環境と文化諸地域の生活・文化と環境などについて詳しく学習する。	1学年の地理Bと共通する部分が多いので、きちんと基礎的事項を自分のものになっているかどうか。
3	現代世界の地誌的考察	現代世界を、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアなどの各地域ごとに考察する。	東アジア・東南アジア・南アジア・アフリカ中南部・ヨーロッパ及びロシア・北アメリカ及び中南アメリカ・オセアニアなど各地域の生活・文化と環境について把握できているか。世界地図を活用できるか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。